

海外短信



— 中国 —

上海自転車事情

～ (株)椿本チエイン ～



中国の電気自転車

充電器が装着されており、充電がなくなるとペダルが活躍

皆様こんにちは、椿本汽車発動機（上海）有限公司 北川と申します。
 当社は (株)椿本チエイン 100%子会社で 2004 年からエンジン部品である
 タイミングチェーンシステムの生産販売の中国拠点として、操業を開始
 しています。

皆さんもご存知の様に中国、特に上海はとにかく人が多く、これが
 中国のパワーの源ではありますが、多いがゆえに「ワレ先に！」と
 交通ルールが悪い特徴があります。

中国は右側通行で、赤でも右折は許されています。(矢印のある信号は
 駄目です。)

そのため、横断歩行は青で信号を渡る時でも周りを確認してから通行
 します。 事故の際は車も自転車も歩行者も責任割合は同じですので、
 全員が牽制し合います。

特に歩行者が気をつけなければいけないのが、車もさることながら
 電気自転車です。 音もなく結構なスピードで近づいて来るのでクセ者
 です。

乗用車の台数も多くなっていますが、自転車もまだまだ大活躍です。乗用車の話はみなさん本職なので、自転車について少々報告します。主流なのが電気自転車です。日本の電動アシスト自転車と違って、漕がなくても走ります。イメージは自転車というよりスクーターの方が近いでしょうか。30km/hr のスピードが出て、4時間ほどの充電で50kmの走行が可能です。価格は2万円～5万円程度で、免許は必要ありません。

晴れた暖かい日に乗っているのを見ると気持ちよさそうに感じますが、充電が無くなるとペダルを漕ぐしかありません。重い車体20kgぐらいを大変そうに漕ぐ姿もたまに見られます。盗難防止の為にわざと汚い自転車に乗る人も多いです

上海ではこの電気自転車の乗車はOKですが、同じ中国でも禁止されている地域もある様で、中国内でも地域によって賛否両論のようです。

雨の日はみんな、ちゃんと雨合羽を着て走ります。自分も自転車もスッポリ隠れる優れモノ！片手に傘を持って運転する人はいません。スピードが出て危ないのと中国製の傘が壊れやすいという理由もありますが、この辺りは日本よりも安全意識があるのかも知れません。

電気自転車が流行っているなんて、中国の方が結構ECOに強い面もあるかもしれないと感じる今日この頃です。



自転車の波が途切れることはありません



ペダル付きスクーター型電気自転車



筆者の椿本汽車発動機の北川さん